

ボランティア通信 2019. 1 Vol. 225



# なかま

発行 交野市ボランティアグループ連絡会  
(交野市ボランティアセンター内)

V連絡会 E-mail vltr94@leto.eonet.ne.jp  
Vセンター E-mail katabora1994@katano-shakyo.com



元日、晴天に恵まれ初詣客の出足も順調な星田神社でした

ボランティアを  
紹介してほしい人  
ボランティア活動を  
はじめたい人  
ボランティアセンター  
にお問い合わせください  
(☎ 8 9 4 - 3 7 3 7)

## 新年あけまして

### おめでとーございませす

穏やかで、心豊かな年になりますよう  
ボランティア活動に携わるみなさま方  
ご健康とご多幸をお祈り申し上げます  
平成三十一年元旦

ボランティアグループ連絡会役員一同

#### 年頭にあたって

川下会長

昨年四月から、新しい役員体制でボランティアグループ連絡会の諸活動に取り組んで参りました。この間、各グループリーダーの方々ははじめ、各イベントの実行委員、そしてボランティアのみなさま方のご理解とご協力をいただき、ここに感謝申し上げます。

そして新たな課題も提起していただきました。その一つは、連絡会のメイン活動である各イベントのあり方です。それぞれのイベントの意義とそれに即した取り組みをどのように展開するのか、これまでの形に拘らないで、ベストな方法を見出し、こうとするものです。次年度に向けて、各グループの率直なご意見等をいただき、早急に検討を進めて参ります。

今年も引続きみなさま方のご理解とご協力をお願い致します。



## 登録ボランティアのみなさまへ ボランティア登録継続意思確認のご案内



個人で登録したボランティアの人は

センター事務所から、活動確認を行いますので、継続・休会・登録抹消のいずれかを連絡してください。2月15日(金)までに返送をお願いします。

センターを通して、定期的に活動依頼のある方には、活動確認を行いませんので、休会や登録抹消の意向がある場合は、その旨をセンターへ連絡してください。

ボランティアグループに  
所属している人は

グループリーダーへ活動の継続・休会・退会のいずれかを連絡してください。確認後、必要がある人にはセンター事務所から問い合わせをする場合があります。

登録内容(住所・氏名等)の変更がある場合は、事務所に申請書を提出してください。

### ボランティア活動保険について

ボランティアセンターへの依頼に対し、ボランティア活動をすると確認された時点で保険加入の手続きを行います。活動を始められる際はボランティアセンターまでご連絡ください。

また、活動していただくにあたって、センターへ依頼書と活動報告を提出していただく必要があります。

詳細はセンター事務所へお問い合わせください。(電話894-3737)

リーダー会議(12月18日)

- ☆連絡会より
- ・大阪府社会福祉大会報告 (2頁参照)
- ・大阪府市町村ボランティア連絡会  
テーマ別研修会 (2頁参照)
- ・第27回健康福祉フェスティバル実行委員会報告(ふれあい部会反省会・健康フェア部会反省会  
それぞれの部会の実施状況・反省点などを踏まえ、次年度開催の参考に供することになった。
- ・ボランティアグループ連絡会の三  
大行事の再検討 (1頁参照)
- ☆Vセンターから
- ・ボランティア登録継続確認の件 (4頁参照)
- ・連絡会助成金会計研修を2月26日(火)に実施(リーダー・新旧を会計担当者を対象)
- ・HP更新について、本日で締切りです。変更データはセンターまで
- ・1月のリーダー会議後、消火訓練を実施
- ☆各グループから(省略)
- ※会議終了後、個人情報保護法について、サブリーダーも交えて研修を実施

### 編集 後記

新年を迎え、気持ちも引き締めて、今年はあるをやる、これもやろうと少

し欲張りな心づもりを持つが、絵に描いた餅になることが殆どである。そして自身の決断のなさを責めているのがオチである。

でも今年はそのような事態にならぬよう、しっかりと計画性を持って望むことにしよう。「一年の計は元且にあり」とか

そして何より大切なのは多くを望まず、自身の力量をわきまえることであろう。次に大切なものが心身の健康である。これを欠いては、すべてが水泡に帰す。日頃の体調管理は簡単なように見えて意外と難しいものである。

歳の所為にせず、前向きにと思えば、いい歳をしてとか、歳甲斐もなくとか、冷や水を浴びせられることがある。ほどほどにということもあるが、これが難問である。

さて、何をやるのか、何をやりたのか、ご託を並べては意味がない。はつきりしろ！と一喝。

ここで目が覚めた。何と後味の悪い初夢だろう。(傘寿朗)

# ボランティア功労賞を個人5人・1団体が受賞

11月30日、大阪国際交流ホールで開催された大阪府社会福祉大会で、社会福祉に功労のあった関係者、団体、ボランティアの功労表彰（別掲）が行われました。式典の後は、誰もが地域社会の一員として違いを認め合い、生き生きと自分らしく暮らすことができる「福祉と共生のまちづくりをめざして」の大会宣言が採択されました。

第二部の講演は、サイン（手話）シンガーソングライターの渡辺りえこ氏

のトーク＆手話ライブ「お互いを暖かく支えあう社会づくり」で、元気で伸びやかな声と、豊かな手話表現で会場を包み込むライブに、これまでにない体験をすることができました。

第三部は、大阪府民生委員児童委員協議会連絡会長による「子どもさわやか賞」の授与式があり、交野市立第三中学校吹奏楽部が受賞しました。



ボランティア功労賞を受賞されたみなさん

## 厚生労働大臣表彰（個人：6人・団体：9団体）

個人 川下 武士（点訳・虹の会）

団体 要約筆記「星の会」

## 大阪府知事表彰（社会福祉ボランティア17人）

個人 横山 津弥子（糸ぐるま）

勝野 豊子（アリス）

辰本 眞理子（手話・さつき）

前田 順子（点訳・虹の会）

## 大阪府市町村ボランティア連絡会・テーマ別研修会 ～災害時に何ができるか、大阪北部地震に学ぶ～



中谷会長「楽しく、にっこり、しなやかに」とあいさつ

12月10日、大阪府市町村ボランティア連絡会によるテーマ別研修会（会場大阪府社会福祉指導センター）に130人が集まりました。

災害時にボラ連として何ができるか、渥美教授（写真・左）の基調講演の後、高槻市（横井会長）・吹田市（中谷副会長・写真右）から6月に発生した大阪北部地震に際して、両市とも災害ボランティアセンターの設置、被災者のニーズの把握・共有をしながらの活動事例と、今後の課題が紹介されました。その中で地域や関係団体とのネットワークの重要性が印象深く残りました。



渥美公秀・大阪大学院教授  
インクルーシブ（包摂する）防災への進化、またマニュアルに縛られない柔軟性を持つ

## 1月のボランティアサロン ボランティアセンターの紹介です

ボランティアに関して、知る、学ぶ、交流する会を毎月開いています。

1月は、ボランティアセンターが日頃どのような活動をしているのかを紹介します。経験も必要ありませんので、お気軽にご参加ください。

とき 1月 21日（月）午後1時30分～3時

ところ ボランティアセンター（1階）

対象 市内と周辺在住、在勤、在学の方

参加費 無料

申し込み： ボランティアセンター  
(072) 894-3737

## 12月のボランティアサロンから 災害ボランティアの活動を知ろう

12月19日（水）、当月のボランティアサロン「災害ボランティアの活動や役割を知ろう」が開かれました。

社協の職員から6月に発生した大阪北部地震、9月の台風21号による被災状況が報告されました。交野市では台風による被災が多く、市民から70数件の支援要請が社協に寄せられました。災害ボランティアセンターの設置には至りませんでした。社協ならびに災害ボランティア・地域の人の支援で被災地や被災者宅の復旧作業に携わってきた経過が画像などを交えて説明され、当時、復旧作業に携わったボランティアの方（写真、下）からも貴重な体験談が話されました。

### 被災宅支援の体験から得たこと



馬場さん

自分の身体能力を熟知しておくことが肝要だ。決して無理をせず、自分がやれることに専念しよう。高所での作業は危険なので避けよう。



山根さん

被災宅への事前調査でどのような作業になるのか、必要な工具や資材の調達、作業人員の確保などをしっかり事前準備しておくことが重要だ。



## 待望の新入会員に沸く！

### 在宅訪問 陽だまり



11月に待ちに待った、新人メンバー（女性）が入会の運びとなりました。11月7日のミニ会議で在宅訪問の実態を包み隠さず説明させていただき、その場で入会の快諾をいただきました。

訪問ロケーションが行き詰まりかけておりましたので、陽だまりの救世主のような思いがしたのが、その時の偽らざる心境です。

12月3日には早速活動に参加をいただき、今後も継続していただることにしました。メンバー一同大喜びでございます。

ところで、どのグループもメンバーの高齢化と退会による人員の減少に大変悩まされていると思えますが、新メンバー獲得に向けて、さらなるPR活動を行わなければならぬと考えている今日この頃です。いいアイデアがあれば教えていただきました。

(B記)

11月24日（土）、大阪中央公会堂で開催され、午前は朗読劇「Heleen」ともしびれ、午後は朗読劇「Heleen」ともしびれをかかげて」が上演されました。

ヘレン・ケラー女史とサリバン先生との出会い、日本ライトハウスの創業者岩橋武夫との交流などを軸に物語が展開されました。物には名前があることを知り、言葉覚え、話せるようになった、その喜びを演じられた場面は絶妙で、思わずひきこまれました。また、岩橋氏との交流の中では「私たち障がいがある者を社会から締め出さないで欲しい。社会の一員なのだから」と言い、「みんな違っていい、みんないい」、ソーシャル・インクルージョン（社会に包み込む）という人間賛歌を唱えられた、素晴らしい朗読劇でした。

午後は村木厚子（元厚生労働事務次官）さんが「ヘレン・ケラー女史来訪の意味」の講演など、とても有意義な一日を過ごすことができました。「あい」のメンバー11人が参加しました。

(Y記)

ヘレン・ケラー女史と岩橋武夫  
ヘレン・ケラー女史 没後五十年を偲んで

2018年  
十一月二十三日（祝）  
二十四日（土）

記念講演・映像パネル展・朗読劇  
於 大阪市中央公会堂  
入場無料（11月24日午後5時開始）